



赤い羽根共同募金運動

平成 30 年度事業報告

～あなたの手から、広がる思いやり～



(平成 30 年度ポスター)

社会福祉法人静岡県共同募金会

目 次

第 1 部 概 要

1 募金状況	1
2 助成状況	1

第 2 部 事業実施状況

第 1 募金活動

1 社会的ニーズの把握	2
2 透明性・客観性・公平性を確保した助成要綱・要領の制定	3
3 助成申請の受付	3
4 助成計画と目標額の策定	3
5 広報・啓発活動	3
6 寄付依頼活動（募金活動）	7

第 2 助成活動

1 共同募金による助成	14
2 緊急等助成資金による助成	15
3 助成活動の効果測定	16

第 3 その他の活動

1 災害等準備金の状況	16
2 災害義援金の状況	17
3 共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金の受入れと助成	17
4 他団体助成事業の受託事務	18
5 顕彰活動	18

第 3 部 法人運営

第 1 会務の運営

1 理事会	20
2 評議員会	21
3 監事監査	22
4 評議員選任・解任委員会	22
5 配分委員会	22
6 本会開催の会議等	23

第 2 その他の会務の運営

1 関係機関との連携	24
2 共同募金運動 70 周年答申の推進方策への対応	24
3 共同募金運動募金経費	25

第 3 社会福祉法人静岡県共同募金会役職員名簿	26
-------------------------	----

第1部 概要

募金額は下げ止まりの傾向！《5億4,002万円余（対前年比99.1%）》

72回目となった平成30年度は、募金目標額を5億7,000万円に定め多くのボランティアとともに運動に取り組んだ。

募金面では、自治会、民生委員・児童委員、経済関係団体、学校関係者に対して丁寧な協力依頼に努めるとともに、社会貢献型自動販売機の設置や使途選択募金の推進、物品寄付の受入など新しい試みにも積極的に挑戦した。

平成7年度以降減少が続いた募金実績は、社会貢献の多様化などによる自治会を中心とした戸別募金などの減少に苦しみながらも、5億4,002万円余（前年比 ▲約475万円99.1%）と昨年同様、減少幅は小さくなり、下げ止まりの傾向となった。

助成面では、「地域から孤立をなくそう」のテーマのもと、こどもの貧困にスポットを当てた「こども食堂赤い羽根バースデイ」の創設などニーズに対応した助成を行うとともに、「使途（寄付金の使いみち）の見える化」に取り組んだ。助成実績は、ほぼ昨年並みの4億8,377万円余（前年比 ▲約450万円99.0%）となり、幅広い福祉関係団体等の要望に応えるとともに、次の募金につながる助成が行えた。

1 募金状況

平成30年度は、厚生労働省告示第315号により、平成30年10月1日から平成31年3月31日までの6カ月間、次のとおり募金活動を実施した。

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額 (円)	比率 (%)
一般募金	360,934,000	332,217,526	92.0	749,656	100.2
（うち使途選択募金）	(5,979,000)	(4,722,237)	(78.9)	(▲207,046)	(95.7)
地域歳末たすけあい募金	185,355,000	190,591,871	102.8	▲2,698,490	98.6
NHK歳末たすけあい	23,711,000	17,217,120	72.6	▲2,806,796	85.9
合 計	570,000,000	540,026,517	94.7	▲4,755,630	99.1
前年度	570,000,000	544,782,147	95.5	▲1,186,038	99.7

（市町共同募金委員会別の実績額は別冊統計資料 5～10 ページ）

2 助成状況

あらかじめ助成申請を受理していた社会福祉施設、社会福祉協議会等の福祉関係団体に対し、地域の福祉課題解決のため、次のとおり助成した。

募金区分	助成 件数	助成額 (円)	前年度比較		
			増減数	増減額 (円)	比率 (%)
一般募金	166	277,299,363	▲3	2,337,023	100.8
地域歳末たすけあい募金	34	184,931,666	0	▲2,534,583	98.6
NHK歳末たすけあい	71	21,544,000	2	▲4,252,000	83.5
合 計	271	483,775,029	▲1	▲4,449,560	99.0
前年度	272	488,224,589	48	▲10,288,357	97.9

（助成一覧は別冊統計資料 14～29 ページ）

第2部 事業実施状況

平成30年度は、共同募金運動の運動性を再生し、全国共通テーマ「地域から孤立をなくそう」を達成するために、次の4本柱（重点方針）に沿って活動を展開した。

① 新たな募金手法への挑戦

従来からの募金手法である戸別募金等とともに、使途選択募金の展開、寄付つき商品の開発、社会貢献型自動販売機の設置など、関係機関・団体との連携により、新たな募金手法に挑戦する。

② 助成活動「使途の見える化」

地域福祉活動の資金ニーズを的確に把握し、時代に即した助成メニューの追加、助成基準の明確化を行う。また、審査機能の充実を図り使途の見える化に努め、助成が募金につながるしくみを目指す。

③ 共同募金を通じた寄付文化の醸成

社会貢献意識が高まる中、共同募金の知名度を活かし企業や寄付者に対して積極的に広報に努めるとともに、イベント等での寄付機会の提供を行い、寄付文化の醸成に努める。

④ 組織の活性化と開かれた組織

運動性の再生を図るため、自らも機能強化を図るとともに、市町共同募金委員会の組織の強化などを支援する。また、経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性の向上等を図り、寄付者に信頼される開かれた共同募金会を目指す。

第1 募金活動

共同募金は地域福祉活動を進めるため、あらかじめ使いみち（助成計画）や目標額（募金計画）を定めて行う計画募金である。そのため地域福祉活動ニーズに即した助成要綱を定め広く要望を取りまとめたうえで、助成計画及び募金目標額を定めて募金活動を展開した。

1 社会的ニーズの把握

(1) 県及び市町社会福祉協議会との連携

- ① 共同募金の実施に先立ち静岡県社会福祉協議会に、社会福祉法第119条の規定に基づき目標額、助成の範囲等に対する意見を求めた。
- ② 市町社会福祉協議会は、地域福祉活動の主たる実施主体として、地域福祉活動計画等を定め地域ニーズに即した活動を積極的に展開しており、活動財源としての共同募金の役割も大きいことから、常に連携を図り共通認識の形成に努めた。

■ アンケート調査の実施

区 分	調査先	調査内容
市町社会福祉協議会が行う2次助成事業に関する事	全市町社会福祉協議会（共同募金委員会）	「使いみちの見える化」を図るため、助成金の70%を占める市町社会福祉協議会の行う地域福祉活動支援事業の内容、審査基準及び審査方法について調査

(2) 助成施設団体等との意見交換

助成先が抱える福祉課題について、共同募金の助成を通じて課題解決が図られるよう、現地調査の際に意見交換を行い現状と将来展望の把握に努めた。

(3) 行政機関との意見交換

最近の行政施策の動向、施設整備等の補助制度の内容等について、行政機関と意見交換を行い、公的支援制度で対応できない諸課題について情報収集に努めた。

2 透明性・客観性・公平性を確保した助成要綱・要領の制定

助成計画及び募金目標額算定の基礎となる助成要綱・要領は、助成基準の明確化、助成事例の例示などを、寄付者と助成先の双方に解りやすいものとするとともに、透明性、客観性、公平性を確保するため、助成対象となる活動主体、内容、対象経費等の助成条件、応募方法、審査方法を配分委員会の承認後、理事会において決定した。

3 助成申請の受付

助成申請の募集では、助成情報の広報に努め、幅広い助成先の掘り起こしに努めた。

主な申請受付期間	平成 30 年 4 月 2 日（月）～5 月 15 日（火）
----------	--------------------------------

（広報方法）

- (1) 助成要綱・要領を広く住民が閲覧できるようホームページで公表
- (2) 市町社会福祉協議会、福祉施設団体等に直接助成案内を送付
- (3) 静岡県ボランティア協会、静岡県社会福祉協議会、男女共同参画センターあざれあ、静岡県 NPO センターに、ホームページ及びメールマガジンなどへの掲載依頼
- (4) 各市町共同募金委員会では助成説明会を開催

4 助成計画と目標額の策定

- (1) 助成申請の状況を基に本年度の助成計画を策定し、助成計画に経費を加えた額を今年度の募金目標額とし、配分委員会の承認後、平成 30 年 7 月 12 日（木）開催の第 273 回理事会において決定した。（別冊統計資料 2、3 ページ）
- (2) 社会福祉法第 119 条に基づき、募金の目標額、受配者の範囲、配分方法について、9 月 28 日（金）に静岡新聞紙上で公告した。

■平成 30 年度共同募金 申請状況・助成計画・目標額一覧（単位：千円）

募金区分	申請状況		助成計画 ①	経 費 ②	目標額 (①+②)
	件数	申請額			
一般募金	136	301,643	310,129 《293,099》	67,835	360,934
地域歳末 たすけあい募金	34	179,617	179,617 《179,617》	5,738	185,355
NHK 歳末 たすけあい	申請受付期間 9 月 1 日～10 月 31 日		24,508 《22,733》	978	23,711
計	170	481,260	514,254 《495,449》	74,551	570,000
	(175)	(486,244)	(525,405)	(74,551)	(570,000)

《 》書き：助成計画のうち募金が必要な額（積立金取崩等、既に財源があるものを除く）

() 書き：前年度実績

5 広報・啓発活動

(1) 県民全体への広報

① 街頭キャンペーン活動

ア 共同募金運動への理解を深めるため、運動初日の 10 月 1 日（月）に静岡駅北口広場において、会長及び副知事、静岡市長等による街頭キャンペーンを予定していたが、あいにくの台風襲来のため中止となった。

募金実績	中止のため実績なし	(前年 29,278 円)
------	-----------	---------------

イ 34 市町共同募金委員会において、10 月 1 日の運動開始以降、駅や繁華街等（延べ 366 か所）において、福祉団体関係者、小学校児童・中学校・高校生徒などのボランティアによる街頭募金等の宣伝活動を行った。

② 運動開始前に、赤い羽根共同募金の「使途の見える化」を図り、新たな募金につな

げるため、本年度申請事業の内容と昨年度の助成先を紹介する市町版各戸配布チラシを全戸配付（又は回覧）し、赤い羽根共同募金の意義と必要性をアピールした。

特に助成金の約70%を活用している市町社会福祉協議会からの「ありがとうメッセージ」を率先して掲載し、赤い羽根共同募金が身近な地域福祉活動に役立っていることを広報した。

- ③ 静岡県健康福祉大会（10月25日（木） グランシップ）において、「ありがとうメッセージ」、「共同募金歴代ポスター」「子ども食堂赤い羽根バースディポスター」を掲出しPRに努めた。
- ④ 各世帯、企業、学校などに各種資材を使用し広報活動を実施した。

資 材 名	作製数 ・購入数	備 考
赤い羽根（シール・針）	1,916,700 本	各世帯用（購入）
市町共同募金委員会会長名領収書（冊子型）	18,060 冊	戸別等市町共募領収書（作成）
市町共同募金委員会会長名領収書（バラ型）	105,420 枚	〃（作成）
静岡県共同募金会会長名領収書（冊子型）	83,040 冊	法人等税控除用領収書（作成）
静岡県共同募金会会長名領収書（バラ型）	14,170 枚	〃（作成）
募金ボランティアバッジ	5,400 個	募金ボランティア用（購入）
ボランティア活動の手引き（A4 三つ折り）	28,500 部	募金ボランティア用（作成）
募金ボランティア委嘱状（A5）	3,700 枚	〃（作成）
共同募金と税制（A4 三つ折り）	32,400 部	寄付者用（作成）
静岡県知事名挨拶状（A4）	13,400 枚	企業用（作成）
法人開拓用チラシ（A4）	22,300 枚	〃（作成）
学校募金ハンドブック（静岡県版）（12 頁）	7,500 部	各学校（作成）
壁新聞（B2）	1,910 枚	各学校（購入）
ポスター（静岡県版 B2・B3・A2）	13,100 枚	各所掲出用（作成）
市町版各戸配付用チラシ（A4）	883,550 枚	各世帯用（作成）
全県版パンフレット（A3）	5,500 枚	〃（作成）
静岡県商工会議所連合会会長・商工会議所会頭連名挨拶状（A4）	56,700 枚	15 商工会議所会報誌に同封（作成） ※うち 4,400 枚は会報紙に印刷
静岡県商工会連合会会長・商工会会長連名挨拶状（A4）	5,880 枚	10 商工会（作成）
健康福祉大会等配布用ありがとうメッセージ（A4）	2,600 枚	催事用（作成）
払込取扱票	10,000 枚	ゆうちょ銀行振込用（作成）
共同募金たすき	10 枚	街頭用（購入）
企業向パンフレット	2,247 部	企業用（購入）
基礎パンフレット（赤い羽根リーフレット）	1,054 冊	一般向（購入）
赤い羽根ブランドブック	282 冊	企業用（購入）
募金箱用チラシ	1,467 枚	街頭用（購入）
子ども向パンフレット	622 冊	学校用（購入）
子ども用ワッペン（ドラえもん）	20,580 個	〃（購入）
子ども用クリアファイル	550 枚	〃（購入）
募金バッジ	153 枚	募金ボランティア用（購入）
共同募金のぼり旗（ポール付）	20 本	街頭用（購入）
〃（旗布のみ）	40 枚	〃（購入）
エコバッグ	20 枚	募金ボランティア用（購入）
ボールペン	4,530 本	〃（購入）
買物バック	12 枚	〃（購入）
新共同募金ハンドブック	50 枚	市町 cc 担当者用（購入）
スタンド式募金箱	12 個	催事用（購入）
街頭肩掛募金箱	113 個	街頭用（購入）
卓上募金箱	123 個	企業用（購入）

資 材 名	作製数 ・購入数	備 考
キャラクター募金箱	10 個	〃 (購入)
職域募金箱	3,725 個	〃 (購入)
組立式募金箱(ドラえもん)	60,560 個	学校用 (購入)
募金箱用チェーン	125 本	募金箱用 (購入)
プレミアム赤い羽根バッジ	21 個	役職員用 (購入)
寄付つきプレミアム赤い羽根バッジ	152 個	寄付つき商品用 (購入)
寄付つきクオカード	2,656 枚	寄付つき商品用 (購入)
寄付つき図書カード	1,770 枚	寄付つき商品用 (購入)

⑤ 2019 年 共同募金広報用ビデオの制作

“赤い羽根”は知っていても、目的や使いみちが分からないという声に応え、「何のために使われているか」をもっと知ってもらうための広報用ビデオを制作した。

タイトル	赤い羽根共同募金って知ってる?～じぶんの町を良くするしくみ～		
収録時間	8 分 50 秒	仕様・数量	・DVD-Video (DVD プレイヤー・パソコン用) …50 本 ・MP4 ファイル (パソコン用) …データ納品
主な配付先	市町共同募金委員会		
活用方法	募金の協力依頼や募金ボランティア研修 (貸出を含む) ・自治会、町内会を通じた戸別募金の依頼 (自治会の説明) ・商工会議所等の会議や各法人への依頼 (企業担当者への説明) ・民生委員への理解促進と協力依頼 (募金ボランティア研修) ・街頭募金ボランティアの研修 (活動前の研修) ・福祉教育を通じた子どもへの理解促進 (授業や生徒会活動などへの貸出) ・福祉祭りなどのイベントでの上映		
制作金額	1,393,200 円【財源】指定寄付金審査事務費 890,011 円+運営費積立金 503,189 円		

(2) ホームページによる広報

- ① 助成を受けた施設・団体からの「ありがとうメッセージ」を公開し、寄付者への謝意を表するとともに、共同募金の「使途の見える化」に努めた。
- ② 募金箱を設置しているスーパーマーケットやイベント募金に取り組む企業等を取材し、協力内容を掲載することで協力への謝意を表し、企業の社会貢献活動をアピールした。
- ③ 助成要綱、申請用紙などをダウンロードできる仕組みとし、申請者の利便性の向上を図るとともに、助成情報の周知に努めた。
- ④ 使途選択募金の参加団体が掲げる福祉課題を目標額と実績額と共に掲載して、インターネットを通じた寄付につながる仕組みを強化した。
- ⑤ 中央共同募金会とリンクして共同募金に関する情報を発信した。
- ⑥ 助成先と情報の共有化を図るため、助成先のホームページに共同募金のバナーをつけることを促しリンクを強化した。

(3) 報道機関の広報協力

- ① 募金活動開始に先立ち、会長及び常務理事が民放テレビ局 (4 局)、NHK 静岡放送局の代表者を訪問し (平成 30 年 8 月 31 日)、募金運動及び助成先紹介、プレミアム赤い羽根バッジ販売の広報協力を直接依頼した結果、次のとおり、助成先の取材を基に共同募金の意義や使いみちについて報道された。

放送局名	番組名	取材先	放送日
静岡放送	イブアイしずおか	「こども食堂赤い羽根バースデー」 ラポールタスカ ベンチタイム (静岡市) さわだ食堂 (静岡市)	10/22
静岡第一テレビ	しずおかプレミアプリ (しずプリ)	こども食堂富士見台 (富士市)	10/26

- ② 中央共同募金会制作の運動啓発用のテレビスポット、ラジオスポットを各放送局（民間テレビ4局・ラジオ1局、ケーブルTV11局、コミュニティFM7局、インターネットラジオ1局）に提供し報道協力を得た。
- ③ NHK歳末たすけあいでは、NHK静岡放送局が、寄付者、助成先の取材を基に、共同募金の意義や使いみちの事例を報道した。

放送局名	番組名	取材先	放送日
NHK	ひるしず	「プレミアム赤い羽根バッジ」の紹介	10/1
	たっぷり静岡	放課後等デイサービス ららの家(島田市)	10/1
	ニュース	NPO法人静岡難病ケア市民ネットワーク(静岡市)	1/15
	たっぷり静岡	NPO法人ホスピタルプレイ協会(静岡市)	

(4) 地元プロサッカーチームの広報協力

平成22年度からJリーグの清水エスパルスとジュビロ磐田の全面協力により、マスコットキャラクター（パルちゃん & ジュビロくん）の写真提供を受け、独自ポスターを制作している。

平成30年度は、ポスター13,100枚を制作し、町内会・自治会の掲示板、公共施設や地方銀行（静岡銀行（180枚）、清水銀行（50枚））などに掲出し啓発を行った。



(5) 「赤い羽根バルーン」による広報協力

市町共同募金委員会が行う各種キャンペーンに活用する赤い羽根バルーンへの協賛依頼を行った。（1口：50,000円 風船850個）

協賛企業名	口数	活用市町	活用行事
(株)静岡銀行	2口	静岡市	9/9 第39回ふれあい広場 10/1 街頭募金キャンペーン
		御前崎市	10/20 第15回御前崎ふれあい広場
(株)スルガ銀行	2口	掛川市	10/21 第14回掛川市ふれあい広場
		長泉町	10/21 第30回長泉町福祉健康まつり
(株)清水銀行	1口	静岡市	9/23 福祉のまつり2018(清水区)
静岡県民共済生活協同組合	1口	静岡市	9/9 第39回ふれあい広場 10/1 街頭募金キャンペーン
計 (4件)	6口		
前年度 (4件)	6口		

(6) 静岡県による広報協力

- ① しずおか県民だより10月号において、スローガン等が掲載された。
- ② 県庁にポスターとのぼり（4箇所）が掲出され、募金箱（4個）が設置された。また、健康福祉センターにポスター（7箇所）が掲出された。
- ③ SBSラジオ「鉄崎幹人のWASABI」、K-mixラジオ「K-mix RADIO KIDS」で運動開始のお知らせが放送された。

(7) 静岡県社会福祉協議会による広報協力

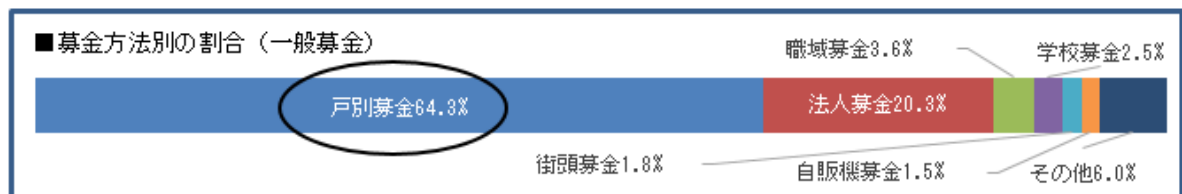
静岡県社会福祉協議会機関紙「社会福祉しずおか」10月特別号に、共同募金運動をテーマとした特集記事が掲載され、募金の使いみちや、学校での取り組み方法、学生が参加する募金ボランティアの取り組みが紹介された。機関紙は、県内の中学校(293校)に配布され、福祉教育に役立てられた。(中学校版120,000部・中学校版以外11,300部)

6 寄付依頼活動(募金活動)

(1) 赤い羽根共同募金(平成30年10月1日から平成31年3月31日の6カ月間)

社会福祉協議会が行う地域福祉活動支援事業や、福祉施設機器整備、こども食堂誕生日会・授産製品応援事業など、福祉課題の解決のため各市町の区域ごとに戸別、法人募金等の募金活動を実施した。また、参加団体が課題解決を呼び掛ける使途選択募金(使いみちを選べる募金)を実施した。

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
一般募金	360,934,000	332,217,526	92.0	749,656	100.2
(うち使途選択募金)	(5,979,000)	(4,722,237)	(78.9)	(▲207,046)	(95.7)



① 一般募金(平成30年10月1日～12月31日)

戸別募金、法人募金、学校募金、職域募金などにより円滑な募金活動を推進するため、募金推進団体開催の会合に出向き、募金活動への積極的な協力を依頼した。

ア 知事報告及び協力依頼

平成29年度の募金・助成活動の報告と10月1日の街頭キャンペーンの参加依頼を行った。

月日	内容	出席者
平成30年5月16日(水)	平成29年度共同募金の状況	会長、常務理事他

イ 戸別募金増強に向けて 一自治会連合会へお礼と協力依頼一

月日	主催	会議名
平成30年6月22日(金)	静岡県自治会連合会	理事会
平成31年3月8日(金)		

ウ 法人募金増強に向けて 一各団体へお礼と協力依頼一

■静岡県、政令市民生委員児童委員協議会

月日	主催	会議名
平成30年5月14日(月)	静岡県民生委員児童委員協議会	理事会
平成30年6月5日(火)		総会
平成30年5月11日(金)	静岡市民生委員児童委員協議会	理事会
平成30年6月25日(月)	浜松市民生委員児童委員協議会	評議員会

■経済・産業関係団体

月日	主催	会議名
平成30年8月3日(金)	(一社)静岡県商工会議所連合会	※1 専務理事・事務局長会議
平成30年7月26日(木)	静岡県商工会連合会	※2 文書依頼

月日	主催	会議名
平成 30 年 6 月 28 日 (木)	静岡県建設業協会	※3 理事会

- ※1 静岡県商工会議所連合会会長及び商工会議所会頭の自署による「共同募金協力に係る挨拶状」を県内商工会議所が発行する会報誌に同封（一部印刷）して、会員に対して社会貢献メニューとしての共同募金への協力を呼びかけた。
- ※2 静岡県商工会連合会会長及び商工会会頭の連名による「共同募金協力に係る挨拶状」を活用し、市町共同募金委員会が当該商工会の会員に対し、社会貢献メニューとしての共同募金への協力を呼びかけた。
- ※3 静岡県建設業協会の協力により、会員企業に対して社屋・建設工事現場等への「社会貢献型自動販売機」の設置を呼びかけた。また、ホームページに本会からの寄付依頼、「社会貢献型自動販売機」設置協力依頼を掲載した。

金融機関

月日	対象	内容
平成 30 年 8 月 9 日 (木) 10 月 17 日 (水)	県内地方銀行 3 行	手数料免除 赤い羽根バルーン協賛依頼※1
平成 30 年 8 月 10 日 (金)	県民共済生活協同組合	赤い羽根バルーン協賛依頼※1
平成 30 年 9 月 6 日 (木)	県信用農業協同組合連合会	手数料免除

エ 企業団体等への募金依頼

募金箱の設置推進

依頼先	設置数	依頼内容	設置期間
国の出先機関	131	職域募金箱設置、寄付つきクオカード	10 月～3 月
静岡県庁	900	職域(封筒)募金、寄付つきクオカード	10 月～12 月
静岡県庁売店	1	募金箱設置	年間
静岡県教育会館	1	募金箱設置	年間
ふじのくに健康福祉キャンペーン構成団体	91	職域募金箱設置、寄付つきクオカード	10 月～3 月
静岡県内の郵便局	483	職域募金箱、ポスター掲出	10 月～3 月
(公財) 静岡市まちづくり公社	1	募金箱設置	年間
真如苑(静岡精舎、浜松支部)	2	募金箱設置	年間
(株)静岡鉄道(静鉄ホテルプレジオ)	2	募金箱設置、ポスター掲出	年間
富士山静岡空港出国ロビー免税店	1	募金箱設置	年間
全日本空輸(株)静岡空港所	1	募金箱設置、ポスター掲出	10 月～12 月
(株)エンチョー	54	募金箱設置、ポスター掲出	10 月～12 月
(株)オークワ	3	募金箱設置、ポスター掲出	10 月～12 月
(株)静鉄ストア	35	募金箱設置、ポスター掲出	10 月～12 月
(株)遠鉄ストア	31	募金箱設置、ポスター掲出	10 月～12 月
(株)ヒバリヤ	9	募金箱設置、ポスター掲出	10 月～12 月
(株)タカラ・エムシー(フードマーケット マム)	41	募金箱設置、ポスター掲出	10 月～12 月
(株)ユーマート(ファミリーショップUマート)	9	募金箱設置、ポスター掲出	年間
生活協同組合ユーコープ	18	募金箱設置、ポスター掲出	12 月
沓間水産(株)(沼津魚がし鮎)	20	募金箱設置、ポスター掲出	年間
静岡県麺類業生活衛生同業組合	13	職域募金箱、ポスター掲出	10 月～12 月
静岡県社交飲食業生活衛生同業組合	11	職域募金箱、ポスター掲出	10 月～12 月
静岡県飲食業生活衛生同業組合	39	職域募金箱、ポスター掲出	10 月～12 月
静岡県理容生活衛生同業組合	29	職域募金箱、ポスター掲出	10 月～12 月
静岡県美容業生活衛生同業組合	35	職域募金箱、ポスター掲出	10 月～12 月
静岡県書店商業組合	18	職域募金箱、ポスター掲出	年間
(株)戸田書店	13	職域募金箱、ポスター掲出	年間

依 頼 先	設置数	依頼内容	設置期間
(株)谷島屋	19	職域募金箱、ポスター掲出	年間
(株)江崎書店	3	職域募金箱、ポスター掲出	年間
MARUZ EN&ジュンク堂	1	職域募金箱、ポスター掲出	年間
(株)ガイア	2	募金箱設置	年間
計(31)	2,018		
前年度(36)	2,676		

■ 寄付金実績

依 頼 先	寄付額 (円)	備考
国の出先機関	36,663	20 機関
静岡県庁	1,178,313	482 部署 (寄付金内訳：共同募金 707,355 円 NHK歳末たすけあい 470,958 円)
ふじのくに健康福祉キャンペーン構成団体	50,178	18 団体
静岡県内の郵便局	407,067	289 箇所
(株)静岡銀行	1,425,624	142 店舗
社会福祉法人	843	2 施設
真如苑（静岡精舎、浜松支部）	411,212	2 精舎
静岡県建設業協会	2,290	1 社
富士山静岡空港出国ロビー免税店	7,748	1 店舗
全日本空輸(株)静岡空港所	2,018	
(株)エンチョー	367,064	県内 37 店舗 331,794 円 県外 10 店舗 35,270 円(他県共募)
(株)静鉄ストア	111,739	35 店舗
(株)遠鉄ストア	100,000	31 店舗
(株)ヒバリヤ	15,168	9 店舗
(株)タカラ・エムシー(フードマーケット マム)	156,230	41 店舗
(株)ユーマート(ファミリーショップUマート)	32,876	1 店舗
生活協同組合ユーコープ	66,144	18 店舗
静岡県麺類生活衛生同業組合	5,000	1 支部
静岡県理容生活衛生同業組合	20,785	8 支部
静岡県美容業生活衛生同業組合	7,021	3 支部
静岡県書店商業組合	29,130	5 支部
(株)戸田書店	47,044	5 店舗
(株)谷島屋	36,557	5 店舗
計(23)	4,516,714	
前年度(25)	4,861,139	

オ 学校教育における共同募金運動の推進依頼

学校募金ハンドブック（静岡県版）を県内の小学校・中学校・高等学校に 4 冊ずつ配付し、教育活動の一環としての共同募金運動の取り組むよう依頼した。

月日	主催	対象
平成 30 年 4 月 24 日（火）	静岡県私学協会	学校法人理事長・校長
平成 30 年 4 月 11 日（水）	静岡市教育委員会	市立小、中学校長代表者
平成 30 年 5 月 30 日（水）	静岡県高等学校長協会	高等学校長理事（理事会）
資料の配布を依頼	浜松市教育委員会	市立小、中学校長
	静岡市教育委員会	市立小、中学校長
	静岡県教育委員会	市町教育委員長・教育長（政令市含む）

月日	主催	対象
		公立小、中学校長（政令市除く）
		公立高、特別支援学校長（市立高含む）

カ その他の依頼先

- 東日本旅客鉄道（株）横浜支社の承認をうけ 10 月から 12 月の間、熱海駅（34 日間）、伊東駅（17 日間）の構内での街頭募金を実施した。
- （一社）静岡県医師会の協力により、毎月発行の「静岡県医師会報」（10、11、12 月号）に本会会長署名入りの寄付依頼を掲載し会員に対し募金を呼びかけた。

キ 組立式募金箱、職域募金箱、街頭肩掛募金箱など 6 種類の募金箱 63,044 個（前年度 71,756 個）を市町共同募金委員会に無償で配布し、自発的寄付の環境を整えた。

② 使途選択募金（テーマ型募金）（平成 31 年 1 月 1 日～3 月 31 日）

使途選択募金「使いみちを選べる募金」は、地域の福祉課題をテーマに持つ団体が、共同募金会と協働して、課題を解決する必要性を広くアピールしながら、自ら募金の協力を呼び掛けるもので、寄付者が使いみちを選択できる新たな募金の仕組みである。

平成 25 年度から始め、今回で 6 回目となる。テーマに寄せられた寄付金は、共同募金会から当該団体の支援活動に全額助成（事務経費：本会経費 2%、クレジットカード手数料 3%を除く）され、課題解決へとつながる財源として活用された。

	団体名	テーマ	目標額 (円)	寄付 件数	実績額 (円)	助成額 (円)
1	特定非営利活動法人 駒越地区社会福祉協議会	買い物支援事業	408,000	108	475,800	466,284
2	社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会	ふじのくに生活困窮者自立 支援基金事業	700,000	56	473,877	464,400
3	特定非営利活動法人 静岡県補助犬支援センター	補助犬の元気を支える仕組 み事業	500,000	86	334,264	327,579
4	NPO法人 サステナブルネット	はままつやらまいか子ども 食堂	1,420,000	4	1,025,750	1,005,235
5	特定非営利活動法人 てくてく	ひきこもり当事者とその家 族を対象とした居場所づく り	660,000	40	388,161	380,398
6	特定非営利活動法人 サンフォレスト	ひきこもり支援・相談スタ ッフ初級養成講座開催事業	200,000	32	150,000	146,700
7	社会福祉法人 静岡いのちの電話	「いのちの電話」カード配 布事業	117,000	27	147,380	144,433
8	特定非営利活動法人 オールしずおか ベストコミュニティ	障害者の就労を考えるみん なの集い	306,000	8	55,000	53,900
9	【かいごラボ】	「介護保険のかしこい利用 者になるための講座」開催	204,000	32	117,000	113,730
10	社会福祉法人なごみかぜ	子ども食堂の運営	250,000	24	155,271	152,166
11	社会福祉法人 浜松いのちの電話	若者のこころの支援事業 （「若者のいのちの電話カー ド」配布等）	360,000	31	234,000	229,320
12	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会	高校生・大学生と共に創る 「地域共生フォーラムしず おか」開催	410,000	46	580,734	569,120

	団体名	テーマ	目標額 (円)	寄付 件数	実績額 (円)	助成額 (円)
13	特定非営利活動法人 POPOLO	子ども応援事業	150,000	8	167,000	163,660
14	特定非営利活動法人 湖西なろっぷスクール	「未来を担う心豊かな子供 を育てる」事業	294,000	104	418,000	409,640
計 (14)			5,979,000	606	4,722,237	4,626,565
前年度(12)			4,717,000	654	4,929,283	4,829,113

(詳細は別冊統計資料 25 ページ)

(2) 地域歳末たすけあい募金 (平成 30 年 12 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 カ月間)

市町社会福祉協議会が実施する地域歳末支援事業のため各市町の区域ごとに戸別、法人募金等の募金活動を実施した。

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額 (円)	比率 (%)
地域歳末 たすけあい募金	185,355,000	190,591,871	102.8	▲2,698,490	98.6

(3) NHK 歳末たすけあい (平成 30 年 12 月 1 日から 12 月 25 日までの 25 日間)

日本放送協会、中央共同募金会、NHK 厚生文化事業団が、生活困窮者等の年末年始支援、児童養護施設等利用者の進学等自立支援を行うために募金活動を実施した。

- ① 日本放送協会静岡放送局はテレビ番組やラジオ放送の中で募金活動と呼び掛けるとともに、静岡放送局に募金受付窓口を設けた。
- ② 中央共同募金会を通じて寄付経験者に寄付依頼のダイレクトメールを発送した。
- ③ 運動初日に、静岡精華幼稚園の協力を得て、静岡放送局、日本赤十字社静岡県支部 (NHK 海外たすけあい) とともに受付窓口オープンキャンペーンを行った。

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額 (円)	比率 (%)
NHK 歳末たすけあい	23,711,000	17,217,120	72.6	▲2,806,796	85.9

■ 受付状況

受付窓口	件数	寄付額 (円)	内 訳		
			取り扱い	件数	寄付額 (円)
中央共同募金会	1,218	13,830,560	県下各郵便局、信用金庫ほか		
NHK 静岡放送局 静岡県共同募金会	133	1,489,768			
	286	1,896,792	地方銀行 3 行扱い	27	968,085
			農協扱い	51	387,260
			漁協扱い	1	5,000
			事務局扱い	206	476,447
			その他	1	60,000
県内窓口	419	3,386,560			
計	1,637	17,217,120			
前年度	1,561	20,023,916			

(4) 年間を通した寄付の受入

① 社会貢献型自動販売機による寄付

新たな募金ツールとして、売り上げの一部が共同募金に寄付される清涼飲料水自動販売機の設置を推進した。

飲料会社・業者	設置台数	寄付額（円）
ダイドードリンコ(株)	153	2,035,005
ユニヴァーサル商事(株)	40	147,279
ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)	8	100,267
(株)伊藤園	49	463,578
コカ・コーラボトラーズジャパン(株)	54	271,893
(特非) ハートフル福祉募金	18	751,473
東海ビバレッジサービス(株)	56	526,910
サントリーフーズ(株)	2	35,330
ナショナル・ベンディング(株)	5	54,470
(株)ジャパンビバレッジホールディングス	33	193,964
サントリービバレッジサービス(株)	18	109,525
(株)アペックス	3	77,163
アサヒ飲料販売(株)	8	33,766
中央静岡ヤクルト販売(株)	3	9,271
(株)ツキジベンディング	12	21,750
(株)栞堂	3	15,979
フクロイ乳業(株)	2	16,882
アシード(株)	1	11,544
トーヨーベンディング(株)	1	35,370
(株)富士テレネット	12	5,360
その他	9	30,375
計	490	4,947,154
前年度	460	4,678,273

※設置台数は、平成 31 年 3 月 31 日現在（設置先別台数一覧は別冊統計資料 11 ページ）

② 中央共同募金会受付の寄付金（静岡県分）

寄 付 者	件数	寄付額（円）
(株)マルハンユニオン	1	1,550,000
センティールレワン(株)	1	9,800
東洋羽毛工業(株)	1	17,880
エドワーズライフサイエンス(株)	1	2,169
ゼブラ(株)	1	765
そんぽ 24 損害保険(株)	1	134
NTT スマートトレード(株)	1	1,451
(株)ガイア	2	7,266
(有) s a i n t a r r o w	1	4,712
(株)トゥ・ディファクト	1	146
(株)クオカード	1	1,707
ヤフー(株)	1	5,941
インターネット寄付	16	403,432
ふるさとサポート募金	16	381,000
ペイジー（ネットバンク）	-	481
ファミポート	-	21,000
ソフトバンク「つながる募金」	-	951
その他	18	39,352
計	47	2,044,755
前年度	44	2,731,961

③ 物品による寄付

共同募金に寄付された物品を社会福祉施設に助成し、社会福祉事業等へ貢献する新しい募金手法として、企業の社会貢献活動の促進につなげた。

寄 付 者	寄付物品	数量	寄付額 (円)
はごろもフーズ(株)	備品	81 品	1, 193, 268
	鉢植 (胡蝶蘭)	16 鉢	800, 000
	備品	133 品	1, 676, 980
静銀ティーエム証券(株)	鉢植 (胡蝶蘭)	11 鉢	330, 000
計	4 件		4, 000, 248
前年度	2 件		2, 055, 200

(助成一覧は別冊統計資料 23～24 ページ)

④ 寄付つき商品による寄付

ア プレミアム赤い羽根バッジによる寄付

共同募金のシンボルである「赤い羽根」に親しみを持っていただくとともに、共同募金運動の認知度を高めるために、寄付つき商品として「プレミアム赤い羽根バッジ」を取り扱い、着用を推進した。

【頒布価格】1, 000 円 (うち寄付額 485 円) 【購入元】中央共同募金会

窓口	個数	寄付額(円)	備考
本会	225	109, 125	ゆうちょ銀行からの 払込による取扱い
静岡県庁東館 2 階喫茶びあ～	37	17, 945	(福)明光會による窓 口取扱業務の協力
静岡県静岡総合庁舎別館地階 South びあ～			
計	262	127, 070	
前年度	190	92, 150	

イ その他の寄付つき商品による寄付

寄付つき商品	枚数	寄付額(円)	備考
寄付つきクオカード	2, 656	1, 051, 776	頒布価格 1, 000 円 (うち寄付金 396 円)
寄付つき図書カード	1, 770	725, 700	頒布価格 1, 000 円 (うち寄付金 410 円)
計	4, 426	1, 777, 476	
前年度	4, 919	1, 974, 972	

第2 助成活動

年度当初に受け付けた施設・団体等(社会福祉協議会を含む)からの助成申請については、募金活動終了後に会長、配分委員会委員による現地調査を実施した上で助成案を策定し、配分委員会での審議・承認を得て、理事会において次のとおり決定し助成した。

(令和元年5月10日公告)

1 共同募金による助成

(1) 平成30年度共同募金による助成

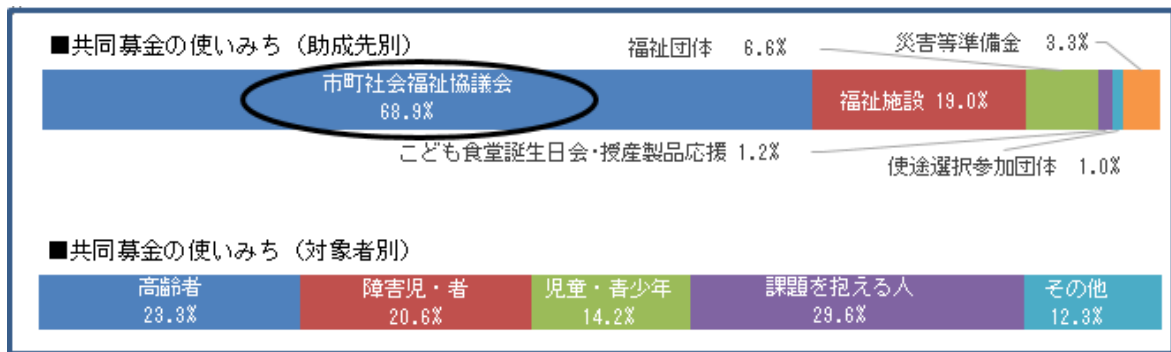
(単位：円)

区分		種別	助成先	件数	30年度実施 事業助成額	31年度実施 事業助成額	計
一般 募金	地域	地域福祉活動支援事業	市町社会福祉協議会	35		146, 204, 550	146, 204, 550
	広域 助成 種別	地域福祉活動支援 事業	市町社会福祉協議会 (機器整備)	3		2, 149, 000	2, 149, 000
			広域福祉活動団体	16		25, 693, 000	25, 693, 000
		福祉施設機器整備 事業	社会福祉施設・団体	97	4, 000, 248	72, 536, 000	76, 536, 248
		こども食堂誕生日会・ 授産製品応援事業	障害者の就労支援団 体	1		6, 000, 000	6, 000, 000
		使途選択募金	参加団体	14		4, 626, 565	4, 626, 565
		助成種別 計		131	4, 000, 248	111, 004, 565	115, 004, 813
		災害等準備金（積立）				16, 090, 000	16, 090, 000
		広域 計		131	4, 000, 248	127, 094, 565	131, 094, 813
	計			166	4, 000, 248	273, 299, 115	277, 299, 363
地域歳末 たすけあい 募金	地域歳末たすけあい事業	市町社会福祉協議会	34	139, 238, 930	0	139, 238, 930	
	地域福祉活動支援事業 (翌年度)	市町社会福祉協議会	(30)		45, 692, 736	45, 692, 736	
	計		34	139, 238, 930	45, 692, 736	184, 931, 666	
NHK歳末 たすけあい	年末年始支援活動事業	福祉活動団体	22	1, 490, 000	0	1, 490, 000	
	年末年始施設利用者支 援事業	児童福祉施設、 更生施設他	48	15, 160, 000	0	15, 160, 000	
	進学等自立支援事業	児童養護施設、自立 援助ホーム、里親等	1		4, 894, 000	4, 894, 000	
	計		71	16, 650, 000	4, 894, 000	21, 544, 000	
合 計				271	159, 889, 178	323, 885, 851	483, 775, 029
前年度				272	159, 618, 060	328, 606, 529	488, 224, 589

※財源は、平成30年度の募金額に加え、災害等準備金取崩金17,030,000円(平成26年度積立分)を充当した。

() 書きは市町社会福祉協議会の歳末支援活動助成との重複件数

(助成一覧は別冊統計資料 14～29 ページ)



(2) 平成 29 年度共同募金による助成（平成 30 年度地域ふれあい支え合い助成）

平成 29 年度共同募金を活用し、小地域の支援対象に対して行う福祉活動及び更生保護活動のための事業費及び機器整備に次のとおり助成した。

助成区分	件数	助成額（円）
(1) 要援護者のための支援体制づくり活動		
①見守り事業	2	353,000
②生活支援事業	1	186,000
小計	3	539,000
(2) 在宅福祉活動		
①ひきこもりや孤立を防ぐ事業・勉強会	3	431,000
②ひきこもりや孤立を防ぐ事業・高齢者サロン	41	7,624,000
③ひきこもりや孤立を防ぐ事業・子育てサロン	5	981,000
④視覚障害者への情報提供事業	2	407,000
⑤難病患者勉強会	1	170,000
⑥子どもの遊び場の遊具設備の新設	7	1,848,000
小計	59	11,461,000
計	62	12,000,000
前年度	(49)	10,087,000

（助成一覧は別冊統計資料 35～40 ページ）

2 緊急等助成資金による助成

(1) 共同募金運動 70 周年記念助成

災害緊急助成実施要領に基づき、緊急等助成資金を活用して共同募金運動 70 周年記念助成として、次の助成を実施した。（27 件 36,533,738 円）

① 災害ボランティア活動用資機材助成整備

助成先	事業内容	件数	助成額（円）
下田市社会福祉協議会 ほか	災害活動用資機材 収納庫	15 件	9,396,738
前年度		7 件	4,330,487

（助成一覧は別冊統計資料 30～31 ページ）

② 福祉施設機器整備（当年度機器整備）

助成先	事業内容	件数	助成額（円）
(仮称) グループホームたいよう ほか	平成 30 年度に認可施設 を創設又は増改築する 福祉施設の機器整備	12 件	27,137,000
前年度		20 件	25,218,000

（助成一覧は別冊統計資料 32～34 ページ）

■緊急等助成資金

平成 27 年度末に、繰越が多額に上ったため、静岡県（所轄庁）の指導に基づいて、繰越金とはせずに、目的を明確にした基金として積み立て計画的に助成に回すこととした。そのため、従前あった積立金「緊急等助成資金」に、繰越分から 120,000 千円を積み立て、名称も「緊急等助成資金」に改めた。この資金を活用した「共同募金運動 70 周年記念助成」として、平成 28 年度に「災害ボランティア活動用資機材助成整備」を、平成 29 年度に「福祉施設機器整備（当年度機器整備）」を創設した。（いずれも平成 31 年度までの時限事業）

■緊急等助成資金残高

（単位：円）

前期末 残 高	30 年度 積立額	30 年度 取崩額	30 年度末 残 高
204,040,742	0	36,375,738 [当初の取崩額 36,533,738 精算後戻入額 158,000]	167,665,004

3 助成活動の効果測定

助成先から助成事業完了後に「使途実施報告書・交付請求書」の提出を受け、その内容の精査を行うとともに現地調査時に実施状況を確認し効果の測定を行った。

(1) 県・市町社会福祉協議会による地域福祉活動

- ① 県及び 5 市町社会福祉協議会について、配分委員が社会福祉協議会の事務局を訪問し使途事業の実施状況を調査し、概ね妥当な状況であった。
- ② 市町社会福祉協議会への助成は、「使途が見えない」との批判があることから、今後の助成に当たっては、助成基準を明確にするとともに、助成審査機能の導入等にも取り組むよう指導をした。

(2) 福祉施設機器整備（修繕含む）

- ③ 備品・車両等の更新又は整備は、対象者に対する福祉サービスの向上につながるもので、概ね申請の目的が達成されていた。
- ④ 経年劣化等による施設設備整備は、設置者において年次計画を立てて実施するものであり、助成に当たっては当該経営主体の財政状況を勘案する必要がある。

(3) 広域活動団体による地域福祉活動

- ① 講座、研修などは、福祉サービスの向上につながる人材養成に効果が見られた。

第 3 その他の活動

1 災害等準備金の状況

- (1) 社会福祉法第 118 条に基づき災害等に備えるため積み立てている災害等準備金のうち 13,340 千円を平成 30 年 7 月豪雨災害のために拠出した。

拠出先	拠出額 (円)	使途	拠出日 (公告日)	備考
平成 30 年度豪雨災害 (岡山県、広島県、愛媛県 の共同募金会)	13,340,000	3 県災害ボランティ アセンターの運営費 に充当	H30.8.31 (9.28 静岡 新聞広告)	H27 年積立 分の 4/5

- (2) 災害等準備金のうち積立後 3 年が経過した平成 26 年度積立分 17,030 千円は取崩し、平成 30 年度助成財源とした。
- (3) 年度末には、平成 30 年度分として 16,090 千円を新たに積み立てた。

■災害等準備金の状況

(単位：円)

前期末 残 高	30 年度 拠出・取崩額	30 年度 積立額	30 年度末 残 高
66,110,000	30,370,000	16,090,000	51,830,000
	【内訳】 ・H26 積立 17,030 千円 ・H27 積立分のうち 13,340 千円を平成 30 年 7 月豪雨災害に拠出	H30 共同募金総額の 3%	【内訳】 H27 積立 3,340 千円 H28 積立 16,270 千円 H29 積立 16,130 千円 H30 積立 16,090 千円

2 災害義援金の状況

- (1) 全国各地の災害義援金募集要綱を市町社会福祉協議会に周知した。

	義援金の名称	募集共募	受付期間
1	平成 28 年熊本地震義援金	熊本県共同募金会	平成 28 年 4 月 15 日から令和 2 年 3 月 31 日
	平成 28 年熊本地震義援金	中央共同募金会	平成 28 年 4 月 18 日から平成 31 年 3 月 31 日
2	平成 30 年大阪府北部地震義援金	大阪府共同募金会	平成 30 年 6 月 22 日から 9 月 28 日
3	平成 30 年米原市竜巻災害義援金	滋賀県共同募金会	平成 30 年 7 月 6 日から 9 月 28 日
4	平成 30 年 7 月岐阜県豪雨災害義援金	岐阜県共同募金会	平成 30 年 7 月 11 日から 9 月 28 日
	平成 30 年 7 月豪雨岡山県災害義援金	岡山県共同募金会	平成 30 年 7 月 10 日から令和元年 6 月 28 日
	愛媛県豪雨災害義援金	愛媛県共同募金会	平成 30 年 7 月 11 日から令和元年 6 月 30 日
	平成 30 年 7 月広島県豪雨災害義援金	広島県共同募金会	平成 30 年 7 月 12 日から令和元年 6 月 28 日
	平成 30 年 7 月豪雨災害義援金	京都府共同募金会	平成 30 年 7 月 11 日から 12 月 31 日
	平成 30 年 7 月豪雨高知県災害義援金	高知県共同募金会	平成 30 年 7 月 13 日から 9 月 28 日
	平成 30 年 7 月福岡県豪雨災害義援金	福岡県共同募金会	平成 30 年 7 月 18 日から平成 31 年 3 月 29 日
	山口県平成 30 年 7 月豪雨災害義援金	山口県共同募金会	平成 30 年 7 月 20 日から 12 月 28 日
	平成 30 年 7 月豪雨島根県災害義援金	島根県共同募金会	平成 30 年 7 月 20 日から 9 月 28 日
	兵庫県平成 30 年 7 月豪雨災害義援金	兵庫県共同募金会	平成 30 年 7 月 26 日から 10 月 31 日
	平成 30 年 7 月豪雨災害義援金	中央共同募金会	平成 30 年 7 月 10 日から令和元年 6 月 28 日
	平成 30 年北海道胆振東部地震災害義援金	北海道共同募金会	平成 30 年 9 月 12 日から令和元年 9 月 30 日
5			

- (2) 災害義援金の受付状況

	義援金の名称	募集共募	件数	金額(円)
1	平成 30 年 7 月豪雨義援金	中央共同募金会	8 件	31,354
2	平成 30 年北海道胆振東部地震災害義援金	北海道共同募金会	1 件	231,877
計	2 件		9 件	263,231

3 共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金の受入れと助成

- (1) 特定寄付金、指定寄付金

税制上の優遇措置を希望する共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金を次のとおり受け入れ、助成を行った。

寄 付 者 (所在地)	寄付額 (円)	助成額 (円)	助成先 施設・団体名	使途指定内容
(一社)ほっぷ (愛知県)	21,876,863	39,959,326 (審査事務費 917,537)	(福)雄気の里会 森のいえ はまきた(浜松市)	保育所の建設 用地代
(有)S・T・E・P (愛知県)	19,000,000			
ユニヴァーサル商事(株)(浜松市)	67,952	153,535	(特非)静岡県補助 犬支援センター (静岡市)	補 助 犬 の 普 及 ・ 推 進 事 業
(株)鈴木楽器製作所(浜松市)	21,631			
コーケン工業(株)(磐田市)	21,696			
(有)松和製作所(磐田市)	4,604			
木下電気(株)(浜松市)	11,200			
(株)プランエコとれたて食楽部	7,780			

寄 付 者 (所在地)	寄付額 (円)	助成額 (円)	助成先 施設・団体名	使途指定内容
(袋井市)				
高砂珈琲(株)磐田工場 (磐田市)	3,111			
いちかわ商店 (森町)	3,921			
(有)ぴゅあサポート (浜松市)	10,980			
テイ・エステック(株)浜松工場 (浜松市)	660			
計 (12)	41,030,398	40,112,861	(2)	
前年度 (23)	214,862	214,862	(5)	

※審査事務費は助成額の3%以内 【内訳】 本会分：890,011 円 中央共募分：27,526 円

(2) その他の寄付金

中央共同募金会の赤い羽根福祉基金を次のとおり受け入れ、助成を行った。

寄 付 者 (所在地)	寄付額 (円)	助成額 (円)	助成先 施設・団体名	使途指定内容
アサヒ飲料(株) (東京都)	400,000	200,000	しずおかキッズカフェ (静岡市)	こども食堂の運営費及 び設備整備費
「こどもたちの明るい 未来づくり基金」		200,000	こども食堂富士見台 (富士市)	

4 他団体助成事業の受託事務

(1) 公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦事務

中央競馬馬主社会福祉財団から中央共同募金会を通じて委託を受け、当財団の助成を要望する施設を募集し審査のうえ、次のとおり推薦した。(業務委託費 205,000 円)

施設名	施設 所在地	助成額 (円)	使途指定内容
つばさ (特別養護老人ホーム)	焼津市	2,600,000	福祉車両 (車いす仕様リフト式)
やすらぎの里 (特別養護老人ホーム)	浜松市	460,000	テーブル10台・椅子30脚
あせびの家 (障害福祉サービス共同生活援助)	御殿場市	1,030,000	自動火災報知機設備更新・ワイヤレス警報機設置工事
浜石の郷 (特別養護老人ホーム)	静岡市	720,000	自走式車いす45台
計 (4)		4,810,000	
前年度 (6)		4,770,000	

(2) 公益財団法人車両競技公益資金記念財団助成事業の申請受付事務

車両競技公益資金記念財団から中央共同募金会を通じて委託を受け、当財団の助成を要望する施設・団体の募集及び申請書の受付業務を代行した。(業務委託費 220,000 円)

施設・団体名	施設・団体 所在地	助成額 (円)	使途指定内容
ほのぼのおはなし会	藤枝市	62,800	簡易PAセット(音響ミキサー)等
水守ふれあいサロン くすの木の家	藤枝市	130,500	パソコン、ウィルス対策ソフト等
与左衛門ふれあいサロン	藤枝市	145,600	パソコン
かいらハウス	藤枝市	90,000	ハンドベル
島田点訳奉仕会	島田市	900,000	点字プリンター
竜洋地区社会福祉協議会	磐田市	120,600	プロジェクター、拡声器等
西奈南地区社会福祉推進協議会	静岡市	335,900	プロジェクター、スクリーン等
大富第20自治会 三和地区 三つ和会	焼津市	278,000	テーブル(パネル付)等
要約筆記サークルふじざくら	富士宮市	122,000	パソコン

施設・団体名	施設・団体 所在地	助成額 (円)	使途指定内容
多賀保育園	熱海市	1,980,000	照明器具改修工事
計 (10)		4,165,400	
前年度 (10)		3,280,200	

5 顕彰活動

(1) 平成 30 年度全国社会福祉大会における表彰

平成 30 年 11 月 22 日(木)、メルパルクホール（東京都港区）において、平成 30 年度全国社会福祉大会が開催され本県関係では次のとおり表彰された。

① 厚生労働大臣表彰（1 件）

表彰区分	件数	条件	備考
共同募金運動奉仕団体	1 団体	20 年以上	

③ 中央共同募金会会長表彰（6 件）

表彰区分	件数	条件	備考
奉仕功労者	2 名	10 年以上	
優良地区・団体	4 団体	10 年以上	

(2) 平成 30 年度静岡県健康福祉大会の開催と表彰

平成 30 年 10 月 25 日(木)、グランシップ（静岡市駿河区）において、ふじのくに健康福祉キャンペーン推進協議会の主催による平成 30 年度静岡県健康福祉大会を開催し、次のとおり表彰した。

① 静岡県知事褒賞（1 件）

表彰区分	件数	条件	備考
共同募金運動推進者	1 団体	15 年以上	

② 静岡県共同募金会会長表彰（42 件）

表彰区分	件数	条件	備考
募金ボランティア個人	10 名	3 年以上	本会評議員、評議員選任解任委員、配分委員を含む
募金ボランティア団体	30 団体	〃	
募金ボランティア地区	2 地区	〃	

(3) その他の顕彰（111 件）

表彰区分	件数	条件	備考
中央共同募金会会長感謝楯	1 件	個人 50 万円以上、 団体 100 万円以上	団体
静岡県共同募金会会長感謝状	110 件	5 万円以上	

第3部 法人運営

第1 会務の運営

1 理事会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第272回】 平成30年5月25日（金） 静岡県総合社会福祉会館 集会室 （定足数） 総数11名（定員11名） 出席者9名 ※監事2名出席	【報告事項】 (1) 定款第24条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①平成29年度使途選択募金の助成 ②平成29年度共同募金（一般募金）の寄付物品の助成 ③平成29年度資金収支予算の流用 (2) 共同募金運動70年答申に基づく推進方策の具体的な取組み状況について 【決議事項】 第1号議案 平成29年度事業報告の承認について 第2号議案 平成29年度計算書類等の承認について 第3号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について 第4号議案 評議員候補者（補欠）の提案及び評議員選任・解任委員会の招集について 第5号議案 配分委員会委員の補欠選任について 第6号議案 定時評議員会の招集について 第7号議案 平成30年度共同募金（一般募金）広域目標額について	・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議
【第273回】 平成30年7月12日（木） 静岡県総合社会福祉会館 101会議室 （定足数） 総数10名（定員11名） 出席者9名 ※監事2名出席	【報告事項】 (1) 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について (2) 定款第24条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①平成30年度使途選択募金の実施 ②平成30年度（公財）中央競馬馬主社会福祉財団助成要望団体の推薦 (3) 平成30年7月豪雨災害への対応について 【決議事項】 第1号議案 平成30年度子ども食堂誕生日会・授産製品応援事業の助成について 第2号議案 平成30年度福祉施設機器整備事業（当年度機器整備）の助成について 第3号議案 平成30年度（第68回）NHK歳末たすけあいの助成方針について 第4号議案 平成30年度共同募金の目標額、受配者の範囲、配分の方法について 第5号議案 地域ふれあい支え合い助成事業の助成措置を会長に委任することについて	・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議
【第274回】（決議の省略） 平成30年10月29日（月） 総数11名（定員11名） 同意11名（書面） ※監事2名異議なし（書面）	【決議事項】 第1号議案 理事候補者の提案及び評議員会の招集について	・原案どおり決議

[illegible]

2 評議員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第 165 回(定時)】 平成 30 年 6 月 14 日（木） 静岡県総合社会福祉会館 集会室 (定足数) 総数 14 名（定員 14 名） 出席者 9 名	【報告事項】 (1) 平成 29 年度事業報告について 【決議事項】 第 1 号議案 平成29年度計算書類等の承認について	・原案どおり決議

開催時期・会場	審議事項	備考
※会長、常務理事出席 ※監事 1 名出席		
【第 166 回】（決議の省略） 平成 30 年 11 月 6 日（火） 総数 14 名（定員 14 名） 同意 14 名（書面）	【決議事項】 第 1 号議案 理事の補欠選任について	・原案どおり決議
【第 167 回】（決議の省略） 平成 31 年 2 月 18 日（月） 総数 14 名（定員 14 名） 同意 14 名（書面）	【決議事項】 第 1 号議案 監事の補欠選任について	・原案どおり決議

3 監事監査

開催時期・会場	審議事項	備考
平成 30 年 5 月 14 日（月） 静岡県総合社会福祉会館 集会室 監事 2 名出席	1 平成 29 年度の理事の職務の執行の監査 2 平成 29 年度の業務及び財産の状況の監査 ※公認会計士兼高則之氏による「独立監査人の監査 報告書」は平成 30 年 6 月 14 日受理	事業の適正・計算 関係書類及び財 産目録の適正が 認められた。

4 評議員選任・解任委員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第 4 回】 平成 30 年 5 月 25 日（金） 静岡県総合社会福祉会館 集会室 （定足数） 総数 5 名（定員 5 名） 出席者 5 名	【審議事項】 第 1 号議案 評議員の補欠選任について	・原案どおり可決
【第 5 回】 平成 31 年 3 月 13 日（水） 静岡県総合社会福祉会館 101 会議室 （定足数） 総数 5 名（定員 5 名） 出席者 5 名	【審議事項】 第 1 号議案 評議員の補欠選任について	・原案どおり可決

5 配分委員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第 55 回】 平成 30 年 7 月 2 日（月） 静岡県総合社会福祉会館 集会室 （定足数） 総数 13 名（定員 13 名） 出席者 10 名	【報告事項】 (1) 平成 29 年度共同募金運動の実績について (2) 配分委員会規程第 8 条第 6 項により委員長が専決 した事項の報告について ①平成 29 年度使途選択募金による助成 【審議事項】 第 1 号議案 平成 30 年度子ども食堂誕生日会・授産 製品応援事業の助成について 第 2 号議案 平成 30 年度福祉施設機器整備事業(当 年度機器整備)の助成について 第 3 号議案 平成 30 年度(第 68 回)NHK歳末たす	・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決

開催時期・会場	審議事項	備考
	けあいの助成方針について 第4号議案 平成30年度使途選択募金の実施について 第5号議案 平成30年度共同募金の助成計画について 第6号議案 平成30年度（公財）中央競馬馬主社会福祉財団助成事業に係る推薦について	・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決
【現地調査】 平成30年6月6日から 平成30年6月12日まで （延べ4日間）	配分委員1名により、緊急等助成資金による福祉施設機器整備（当年度機器整備）助成事業に申請のあった12施設について現地調査を実施した。	
【現地調査】 平成30年8月27日から 平成30年9月25日まで （延べ13日間）	配分委員13名により、平成29年度共同募金による平成30年度地域ふれあい支え合い助成事業に申請のあった62団体について現地調査を実施した。	
【現地調査】 平成31年1月10日から 平成31年2月14日まで （延べ15日間）	配分委員13名により、平成30年度共同募金による助成事業に申請のあった82施設、グループ、団体の現地調査を実施した。	
【第56回】 平成31年2月28日（木） 静岡県総合社会福祉会館 集会室 （定足数） 総数13名（定員13名） 出席者10名	【報告事項】 (1) 平成30年度共同募金運動の状況について (2) 配分委員会規程第8条第6項により委員長が専決した事項の報告について ① 平成30年度地域歳末たすけあい募金の助成 (3) 共同募金（一般募金）への寄付物品の助成について 【審議事項】 第1号議案 平成30年度共同募金（一般募金）による助成について 第2号議案 平成30年度（第68回）NHK歳末たすけあいの剰余金による助成について 第3号議案 平成30年度地域歳末たすけあい募金の剰余金による地域福祉活動助成について 第4号議案 平成30年度災害ボランティア活動用資機材助成について 第5号議案 平成31年度助成要綱の制定について 第6号議案 災害ボランティア活動用資機材助成整備実施要領の一部改正について 第7号議案 災害等準備金（平成27年度積立額）の用途について 第8号議案 配分委員会規程第8条第6項の委員会の専決事項の範囲の一部改正について	・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決

6 本会開催の会議等

会議名	開催時期	対象者
使途選択募金の実施に係る説明会	5月10日（木）	
ファンドレイジング講座 「ファンドレイジングを学ぼう」 認定ファンドレイザー 浅井美絵 氏	8月22日（水）	使途選択募金参加10団体13名、市町共同募金委員会事務担当者、社会福祉協議会職員
平成30年度共同募金勉強会 「地域福祉、地域共生社会における共同募金」 中央共同募金会常務理事事務局 長 渋谷篤男氏	8月22日（水）	市町共同募金委員会事務担当者
市町共同募金委員会事務担当者打合会	3月27日（水）	市町共同募金委員会事務担当者

会議名	開催時期	対象者
使途選択募金の実施に係る打合せ (新規参加団体)	11月7日(水) 11月8日(木) 11月9日(金)	参加3団体
使途選択募金の実施に係る打合せ	11月20日(火)	参加12団体13名
助成金交付説明会	3月27日(水)	助成先 111施設・団体

第2 その他の会務の運営

1 関係機関との連携

(1) 中央共同募金会開催の会合等

会議名	開催時期	対象者
都道府県共同募金会職員研修会	4月12日(木) 13(金)	職員
中央共同募金会評議員会	6月20日(水) 3月8日(木)	常務理事
都道府県共同募金会常務理事・事務局長会議	7月4日(水)、5日(木) 2月13日(水)	常務理事

(2) その他会議での事業説明

会議名	開催時期	参加者
市町社会福祉協議会新任事務局長研修会	4月20日(金)	常務理事
市町社会福祉協議会事務局長会議	5月16日(水)	常務理事
東部ブロック市町社協連絡会	8月28日(火)	常務理事
静岡県市町社協中部地区連絡会	7月10日(火)	常務理事
西部ブロック社会福祉協議会連絡会	7月31日(火)、11月30日(金)、2月22日(金)	常務理事

(3) 外部研修

会議名(主催)	開催時期	参加者
関東ブロック都道府県職員研究協議会 (茨城県共同募金会)	6月8日(金)	職員
助成担当者のための実務セミナーin はままつ (特非)浜松NPOネットワークセンター)	9月7日(金)	職員
年末調整等説明会(静岡税務署)	11月15日(木)	職員
遺贈セミナー((公財)ふじのくに未来財団)	3月5日(火)	職員

2 共同募金運動70年答申の推進方策への対応

平成28年度の「共同募金運動70年答申」(中央共同募金会諮問)において、今後10年間の方向性として「共同募金の運動性の再生」が提唱されたことを受け、その実現のため、中央共同募金会、都道府県共同募金会と市町共同募金委員会は、平成28年度からの当面の3年間で達成する共通の目標を定め、それぞれ具体的な取り組みを行っている。

(1) 静岡県共同募金会の具体的な取り組み

① 重点目標

- ・運動性の再生に向けた市区町村共同募金委員会の支援
- ・都道府県共同募金会の機能強化

② 具体的な取り組みの内容と指標

実施項目	具体的な取り組み内容	推進の指標(目標)	H30年度実績
①組織の改革	市町共同募金委員会会長、事務局長、担当者を対象とした勉強会の	開催回数(年1回)	8月22日(水) 「地域福祉のいま、

実施項目	具体的な取り組み内容	推進の指標（目標）	H30 年度実績
	開催		これからの共同募金 「ファンドレイジングを学ぼう」
	市町共同募金委員会への多様な人材の参画を促進	商工会議所、商工会への協力要請（年 1 回）	・県商工会連合会 7 月 26 日（金） ・県商工会議所 7 月 25 日（水） 8 月 3 日（金）
②助成計画の見直し	公募助成の拡大 （使途選択募金の一般公募、助成先の発掘）	使途選択募金の参加者数（15 件）	14 件（+2 件）
③募金の見直し	新たな募金ツールの開発・検討 （テーマ型、寄付付き商品、社会貢献型自販機）	社会貢献型自販機の設置台数（700 台）	490 台（+30 台）
④助成の見直し	市町社会福祉協議会助成事業の助成基準の明確化に向けた現況調査の実施→「見える化」	・助成要綱の見直し ・現況調査箇所数（年 2～3 箇所）	・H31 助成要綱の見直し済み ・現況調査箇所数（5 箇所）
⑤その他	民生委員制度創設 100 周年に合わせ民生委員児童委員協議会に「共同募金推進決議」依頼	平成 29 年度の決議採択	・H29 年度に大会宣言として採択

③ 進捗管理

取り組みの実効性を担保するため、毎年度、推進の指標（目標）の達成状況を理事会に報告し、進捗管理を行うとともに、取り組み内容と指標の見直しを行う。（5 月理事会報告予定）

(2) 市町共同募金委員会の具体的な取り組み

市町共同募金委員会においては、次の重点目標達成のため、平成 28 年度からの 3 年間の具体的な取り組みを定め、実施している。

① 重点目標

- ・運動性の再生による共同募金運動の活性化
- ・多様な人材の参画による住民が主体となった共同募金運動の展開

② 進捗管理

取り組みの実効性を担保するため、推進の指標（目標）の達成状況を毎年度、運営委員会に報告し、進捗管理を行うとともに、取り組み内容と指標の見直しを行う。

3 共同募金運動募金経費

経費率概ね 10%（昭和 42 年 9 月 19 日付社庶第 340 号厚生省社会局長通知）を達成するために、寄付文化の醸成を図り共同募金総額の増加につなげるとともに、募金経費は常にその内容を分析・精査し、必要最小限で最大の効果を上げるよう努めた。

区 分	金額（円）	備 考
募金経費	72,666,287 （うち市町共同募金委員会経費 16,512,667）	市町委員会経費、人件費、事務費、事業費、中央共同募金会分担金、減価償却費ほか （共同募金実績額に対する経費率 13.45%）
前年度	73,035,093 （うち市町共同募金委員会経費 17,085,857）	同上 （共同募金実績額に対する経費率 13.40%）

第3 社会福祉法人静岡県共同募金会役職員名簿

1 理事・監事

[平成31年3月31日現在] 理事定数11名（現員11名） 監事定数2名（現員2名）

役職名	氏名	役職名	氏名
会長(理事)	後藤 康雄	理事	太田 一夫
副会長(理事)	後藤 昌弘	〃	八木 啓仁
副会長(理事)	松下 悦郎	〃	伊藤 浩
副会長(理事)	齋藤 正	常務理事	大野 彰彦
理事	高橋 忍	監事	廣瀬 清久
〃	平井 正晴	〃	萩原 綾子
〃	水野 明		

2 評議員

[平成31年3月31日現在] 評議員定数14名（現員14名）

役職名	氏名	役職名	氏名
評議員	中村 泰昌	評議員	岩崎 康江
〃	窪田 賢一	〃	秋山 辰巳
〃	風間 隆男	〃	笠井 洋明
〃	松井 和子	〃	中西 清文
〃	芦川 清司	〃	戸野谷 宏
〃	瀧 義弘	〃	川井 敏行
〃	田中 充	〃	合田 敏尚

3 評議員選任・解任委員会委員

[平成31年3月31日現在] 委員定数5名（現員5名）

役職名	氏名	役職名	氏名
委員(外部委員)	武田 幸人	委員	萩原 綾子
〃	佐々木 希世子	〃	藤原 由佳子
〃	寫本 壽信		

4 配分委員会委員

[平成31年3月31日現在] 委員定数13名（現員13名）

役職名	氏名	役職名	氏名
委員長	後藤 昌弘	委員	瀧 義弘
委員	伊藤 浩	〃	杉山 晴康
〃	秋山 辰巳	〃	野村 諒子
〃	橋本 知之	〃	笠井 洋明
〃	藤森 昌彦	〃	山本 培代
〃	佐藤 一彦	〃	大野 彰彦
〃	日詰 一幸		

5 職員

[平成31年3月31日現在]

役職名	氏名
常務理事兼事務局長	大野 彰彦
事務局次長	藤原 由佳子
主事	稲葉 真友子
〃	杉山 大輔
嘱託員	松永 幸子

【事務所所在地】

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番70号
 静岡県総合社会福祉会館4階
 TEL 054-254-5212 FAX 054-254-6400
 e-mail 22@shizuoka-akaihane.or.jp
 URL <http://www.shizuoka-akaihane.or.jp/>



じぶんの町をよくするしくみ。